

令和8年第1回臨時会

富良野市議会会議録

令和8年1月26日（月曜日）午前10時00分開会

◎議事日程（第1号）

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 6 号(令和7年第4定) 富良野市宿泊税基金条例の制定について
日程第 4 報告第 1 号 専決処分報告について(令和7年度富良野市一般会計補正予算(第12号))
日程第 5 報告第 1 号 専決処分報告について(令和7年度富良野市一般会計補正予算(第13号))
日程第 6 議案第 1 号 令和7年度富良野市一般会計補正予算(第14号)
日程第 7 議案第 2 号 富良野市手数料条例の一部改正について

◎出席議員（15名）

議長	16番	渋谷正文	副議長	10番	今利一
	1番	宮田均		2番	松下寿美枝
	3番	橋詰亜咲美		4番	家入茂
	5番	坂口邦夫			
	7番	佐藤秀靖		8番	大西三奈子
	9番	二宮利和		11番	大栗民江
	12番	天日公子		13番	石上孝雄
	14番	後藤英知夫		15番	本間敏行

◎欠席議員（1名）

6番 関野常勝

◎説明員

市長	北猛俊	副市長	稲葉武則
総務部長	関澤博行	スマートシティ戦略室長	西野成紀
市民生活部長	北川善人	保健福祉部長	柿本敦史
経済部長	本田寛康	ぶどう果樹研究所長	川上勝義
建設水道部長	西出正人	看護専門学校長	石川賀子
総務課長	入交俊之	財政課長	上坂雅史
企画振興課長	小笠原竹伸	教育委員会教育長	近内栄一

教育委員会教育部長 佐藤 保
選挙管理委員会事務局長 安彦 賢

選挙管理委員長 川崎 隆一

◎事務局出席職員

事務局 長 今井 顕一
書 記 小 河 寛 子

書 記 藤 野 秀 光
書 記 菊 地 駿 汰

午前10時00分 開会
(出席議員数15名)

開 会 宣 告

○議長（渋谷正文） これより、本日をもって招集されました令和8年第1回富良野市議会臨時会を開会いたします。

開 議 宣 告

○議長（渋谷正文） 直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（渋谷正文） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員には、会議規則第126条の規定により、

佐 藤 秀 靖 議員

大 栗 民 江 議員

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

○議長（渋谷正文） 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

今井頭一事務局長。

○事務局長（今井頭一） -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

本臨時会に市長より提出の事件、議案第1号、議案第2号、報告第1号及び報告第2号につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議会より提出の事件につきましては、別紙議会側提出件名表に記載のとおりでございます。

このうち、審査を終了いたしました事件につきましては、報告書としてお手元に御配付のとおりでございます。

次に、本臨時会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

最後に、本日の議事日程につきましても、お手元に御配付のとおりでございます。

以上でございます。

日程第2 会期の決定

○議長（渋谷正文） 日程第2、会期の決定を議題いたします。

本臨時会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願

います。

議会運営委員長後藤英知夫議員。

○議会運営委員長（後藤英知夫） -登壇-

議会運営委員会より、本日をもって招集されました令和8年第1回臨時会が開会されるに当たり、1月23日に委員会を開催し、運営について審議いたしました結果について報告いたします。

本臨時会に提出されました事件数は、5件でございます。

うち、議会側提出事件は1件で、付託案件審査報告でございます。

市長よりの提出事件は4件で、その内訳は、予算1件、条例1件、報告2件でございます。

委員会では、会期を本日1日とし、案件の審議を願うことで委員会の一致を見た次第であります。

以上、申し上げましたとおり、議員、理事者及び説明員各位の御協力を賜りますようお願い申し上げまして、議会運営委員会からの報告といたします。

○議長（渋谷正文） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員会より報告のとおり、本臨時会を運営し、会期は本日1日間としたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

日程第3

議案第6号 富良野市宿泊税基金条例の制定について

○議長（渋谷正文） 日程第3、前会より継続審査の議案第6号、富良野市宿泊税基金条例の制定についてを議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

経済建設委員長石上孝雄議員。

○経済建設委員長（石上孝雄） -登壇-

経済建設委員会より、令和7年第4回定例会において付託されました議案第6号、富良野市宿泊税基金条例の制定について、審査の経過と結果を御報告いたします。

本条例は、富良野市宿泊税条例の施行により、本市が実施する観光振興に係る施策の財源として、宿泊税を令和8年4月1日より徴収、管理することから、本市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進し、観光の振興を図る施策に要する経費の財源に充てるため、基金を設置しようとするものです。

本委員会では、条例の審査に際して、担当部局に資料の提出を求め、本条例の規定の解釈と基金管理フローに関する説明を受け、慎重に審査を進めてまいりました。

各委員からは、第1条の見出しに関する質疑、第5条の繰替運用に関する質疑が行われたほか、今後の予算執行に向けた想定スケジュールなどについて確認を行ってきたところです。

審査の結果、富良野市宿泊税基金条例の制定については、全会一致により、原案可決すべきものと結論を得た次第です。

以上、申し上げまして、経済建設委員会からの報告といたします。

○議長（渋谷正文） これより、本件の質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に関する委員会報告は、原案のとおり可決すべきものであります。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、委員会報告のとおり可決されました。

日程第4

報告第1号 専決処分報告について（令和7年度富良野市一般会計補正予算（第12号））

○議長（渋谷正文） 日程第4、報告第1号、専決処分報告についてを議題といたします。

本件について説明を求めます。

稲葉武則副市長。

○副市長（稲葉武則） -登壇-

おはようございます。

報告第1号、専決処分報告について御説明申し上げます。

本件は、地方自治法第179条第1項の規定により、令和8年1月7日付で専決処分を行いました令和7年度富良野市一般会計補正予算について、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求めるものでございます。

以下、その内容について御説明申し上げます。

議案第1号、令和7年度富良野市一般会計補正予算第12号は、歳入歳出それぞれ1,624万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を179億8,250万3,000円にするものでございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

6ページ、7ページの中段でございます。

9款教育費は、1項教育総務費で、国の物価高騰対応

重点支援地方創生臨時交付金を活用し、1月から3月分の給食費を助成する物価高騰対策緊急学校給食費助成金1,624万7,000円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

同じく、6ページ、7ページの上段でございます。

16款国庫支出金は、2項国庫補助金で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,624万7,000円の追加でございます。

以上、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（渋谷正文） 本件について御発言ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） ないようですので、お諮りいたします。

本件について、承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、承認することに決しました。

日程第5

報告第2号 専決処分報告について（令和7年度富良野市一般会計補正予算（第13号））

○議長（渋谷正文） 日程第5、報告第2号、専決処分報告についてを議題といたします。

本件について説明を求めます。

稲葉武則副市長。

○副市長（稲葉武則） -登壇-

報告第2号、専決処分報告について御説明申し上げます。

本件は、地方自治法第179条第1項の規定により、令和8年1月20日付で専決処分を行いました令和7年度富良野市一般会計補正予算について、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求めるものでございます。

以下、その内容について御説明申し上げます。

議案第1号、令和7年度富良野市一般会計補正予算第13号は、歳入歳出それぞれ1,778万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を180億28万6,000円にするものでございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

6ページ、7ページの中段でございます。

2款総務費は、4項選挙費で、第51回衆議院議員総選挙のための経費1,778万3,000円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

同じく、6ページ、7ページの上段でございます。

17款道支出金は、3項委託金で、衆議院議員選挙委託

金1,778万3,000円の追加でございます。

以上、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（渋谷正文） 本件について御発言ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） ないようですので、お諮りいたします。

本件について、承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、承認することに決しました。

日程第6

議案第1号 令和7年度富良野市一般会計補正予算（第14号）

○議長（渋谷正文） 日程第6、議案第1号、令和7年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

稲葉武則副市長。

○副市長（稲葉武則） -登壇-

議案第1号、令和7年度富良野市一般会計補正予算について御説明申し上げます。

このたび提案いたしました富良野市一般会計補正予算第14号は、歳入歳出それぞれ3億1,381万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を183億1,410万円にするものと、繰越明許費の補正で追加3件でございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

10ページ、11ページでございます。

2款総務費は、2項徴税費で、市税における市税過誤納還付金の過誤納還付金100万円の追加でございます。

3款民生費は、2項児童福祉費で、国の補正予算により、物価高対応子育て応援手当を支給する物価高対応子育て応援手当支給事業費の物価高対応子育て応援手当ほか必要経費5,332万9,000円の追加でございます。

4款衛生費は、1項保健衛生費で、国の補正予算物価高騰対応重点支援により、医療機関及び福祉事業者などへ支援金を支給する医療・福祉施設等物価高騰特別支援金給付事業費の文具・消耗器材及び印刷代、通信運搬費、物価高騰特別支援金3,201万5,000円の追加でございます。

7款商工費は、1項商工費で、国の補正予算物価高騰対応重点支援により、市民に1人当たり1万円の生活応援商品券を配付する物価高騰対策生活応援商品券配付事業費の物価高騰対策生活応援商品券配付事業補助金ほか必要経費と、既存補助金の補助率をアップし、中小企業

の経営基盤強化を図る物価高騰対策中小企業振興パワーアップ補助金の追加、合わせまして2億2,747万円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

戻りまして、8ページ、9ページでございます。

12款地方交付税は、1項地方交付税で、普通交付税100万円の追加でございます。

16款国庫支出金は、2項国庫補助金で、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、合わせまして3億1,281万4,000円の追加でございます。

戻りまして、4ページ、5ページでございます。

第2条繰越明許費の補正は、第2表繰越明許費補正に記載のとおり、物価高対応子育て応援手当支給事業、物価高騰対策生活応援商品券配付事業につきましては、事業完了が令和8年度に及ぶため、物価高騰対策中小企業振興パワーアップ補助金につきましては、令和7年度事業を継続して取り組むため、それぞれ記載の金額を限度として翌年度に繰り越すものでございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（渋谷正文） これより、本件の質疑を行います。質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

8番大西三奈子議員。

○8番（大西三奈子） 12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配付事業費についてお伺いします。

いまの提案では、市民1人当たり1万円の商品券を配付する事業ということで説明いただきました。こちらは、様々なメニューの中から選んだものだと思いますが、まず、商品券を選んだ理由について、議論経過をお知らせください。

あわせて、いま、令和8年度に及ぶということで繰越明許の説明もございましたが、配付の流れとスケジュールについてお知らせください。

○議長（渋谷正文） ここで、答弁調整のため、暫時休憩いたします。

午前10時19分 休憩

午前10時19分 開議

○議長（渋谷正文） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

御答弁願います。

本田寛康経済部長。

○経済部長（本田寛康） 大西議員の御質問にお答えいたします。

12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配付事業費の商品券を手段として選んだ理由ということでございます。

まず、こちらのほうについては、今回、国が物価高騰対策の中で必要な推奨メニューをお示しした上で、その中から地方がそれぞれ必要なものを選択しということで、それぞれ立案するものとなっております。

まず、今回の商品券を選んだ理由につきましては、市民の皆様がいま消費をしていく中で、物価高騰の中で消費生活が苦しいものになってきているというような実情についてお伺いしているところと、あわせて、市内の消費を囲い込むことによります経済対策を同時に対策として実施していくために、富良野市内共通商品券でこれまで本市が取り組んできておりましたその枠組みを活用いたしまして、必要な財源を確保した上で、生活応援商品券という形で富良野市内共通商品券で活用できる、市内の店舗で利用できるように商品券を用意いたしまして、そちらで必要な経済対策と併せて実施しようとするものでございます。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） 続けて、御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 大西議員の御質問にお答えいたします。

物価高騰対策生活応援商品券配付事業のスケジュールでございますけれども、本日の臨時会で御承認をいただいて以降、対象となる商品券の発注、また、発送のリストの整理を行うというような作業の日程になっております。

こちらの商品券の配付事業につきましては、2月1日を基準日といたしまして、そのときに富良野市に住民登録のある方を対象として行うというものにしてございます。それ以降、リストを委託業者に渡しまして封入封緘作業を行い、発送につきましては3月上旬、具体的にお届けするというのは3月中旬から下旬にお届けするような日程になってございます。

それと、商品券の期限でございますけれども、令和8年9月30日を期限とした商品券となっております。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） 続いて、質疑ございませんか。

8番大西三奈子議員。

○8番（大西三奈子） いま御説明いただきまして、2点目の配付の流れ、スケジュールのところで御説明いただいたのですが、今回、予算の中で通信運搬費も含まれておりますので、恐らく郵送によるものなのかと想像するところではあるのですが、これは、受け取りも含めて、どのように配付される考えなのかもお知らせください。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 大西議員の再質問にお答えいたします。

商品券の発送につきましては、郵便局のゆうパックを使うということで、いま予定しております。加えて、ゆうパックにつきましては、対面での引渡しということになりますので、投函するということではなく、それぞれの方にお渡しするというのを1件1件確認していただくという対応になります。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） 続いて、質疑ございませんか。

8番大西三奈子議員。

○8番（大西三奈子） いま、対面でゆうパックを使用してということですが、皆さん、基本的に玄関に出て受け取るのだと思うのですが、これを受け取るのが大変な方、支援を必要とするような方々がいらっしゃるしたら、どういうふうに最終的に全員に行き渡るようにするのか、そこまでお知らせください。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 大西議員の再々質問にお答えいたします。

引渡しにつきましては、通常のゆうパックと同じ取扱いということになりますので、郵送、発送をお願いいたします郵便局とそのあたりについては詰めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） そのほか質疑ございませんか。

11番大栗民江議員。

○11番（大栗民江） 12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配布事業費の、いまの御答弁の中で、ちょっと追加でお伺いしてまいりたいと思います。

例えば、施設の入所者などに関してはどのような手渡し方法になるのでしょうか。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 大栗議員の御質問にお答えいたします。

12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配布事業費について、今回の商品券の配付につきましては、世帯単位で一つの封筒に入れて送らせていただくということになります。施設についても同じように世帯単位の配付ということになりますので、受け取りの体制を含めまして、郵便局で対応していただくということになります。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） よろしいですか。

11番大栗民江議員。

○11番（大栗民江） 世帯単位ですけれども、世帯の中で施設に入所されている方または遠方にいる方だとか、そういう方に関しましてはどのような受け取りになるのでしょうか。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 大栗議員の再質問にお答えいたします。

御質問の中でおっしゃられている部分でいきますと、住民票を自宅に置いたまま施設入所、また、市外にいらっしゃる方ということの想定かというふうに思いますけれども、その点につきましては、世帯主が世帯員のものについて責任を持っていただくということでございますので、世帯単位でいまお住まいの住民票を置いてあるところにお届けし、それ以降につきましては、世帯主の取扱いということになると考えてございます。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） そのほか質疑ございませんか。

1番宮田均議員。

○1番（宮田均） 12ページ、13ページ、7款1項1目の206番、物価高騰対策中小企業振興パワーアップ補助金についてお聞きしたいと思います。

これは、5項目、事業拡大、IT化導入、採用活動支援、職場環境など整備支援、従業員資格取得支援となっております。この内容と募集要領、そして、スケジュール、そして、各金額と、人数というか、個数というか、それが決まっておりますが、これを上回った場合についての対応というのはどういうふうに考えているのでしょうか、お聞きしたいと思います。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

本田寛康経済部長。

○経済部長（本田寛康） 宮田議員の御質問にお答えいたします。

12ページ、13ページ、7款1項1目の206番、物価高騰対策中小企業振興パワーアップ補助金に関する御質問でございます。

まず、こちらの内容でございますが、本事業は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用いたしまして、原材料費等の価格上昇に直面する市内の中小企業者に対しまして、収益性や生産性の向上を図る前向きな取組について支援してまいりたいと考えております。

具体的には、既存の富良野市中小企業振興総合補助金のメニューの中から、特に、経営基盤の強化や賃上げ環

境の整備につながります事業拡大支援事業、IT化導入支援事業、採用活動支援事業、働きやすい職場整備支援事業、従業員資格取得等支援事業、この五つのメニューにつきまして、その支援を重点化する、その支援内容につきましては、いまあります中小企業振興総合補助金の五つのメニューの補助率2分の1をさらにかさ上げいたしまして4分の3以内というようなものにする、加えて、補助金の限度額につきまして、いまある限度額を従来の2倍に設定するというような中身になっておりまして、物価高騰下におきまして投資をためらわざるを得ない状況にある事業者の背中を後押しして、収益性や生産性の向上を図るような形を支援してまいりたいと考えております。

ちなみに、募集要項につきましては、今後、そういったものを整理させていただいていくというような形になりますが、いま申し上げました内容に沿いまして、補助要綱については整理させていただきたいと思っております。

スケジュールにつきましては、こちらは、まず、補助金交付要綱を整理した後に、これから令和7年度内は周知させていただこうと思っております。受付開始につきましては、令和8年4月1日からを予定しております。加えて、いまの想定しております規模でございますけれども、こちらは、補助金上限額をそれぞれ件数で掛けまして、5件を合わせまして36件の規模で積算しているところでございます。内訳につきましては、事業拡大支援事業が15件、IT化導入支援事業が6件、採用活動支援事業が5件、働きやすい職場整備支援事業が2件、従業員資格取得等支援事業が8件、合わせまして36件という見積りになっております。

上回った場合の対応でございますけれども、一応、今回1,900万円という形になりますが、こちらについては、まず、中小企業振興総合補助金の、現在、令和7年度でこの五つのメニューがどれだけ執行されているかということをお伝えいたしますと、合わせまして令和7年度では36件、626万7,000円の執行状況というような形になっております。

今回、補助率のかさ上げと補助限度額のかさ上げ、それぞれありますので、申請需要が伸びることも想定しておりますが、今回、1,900万円の予算を確保することによりまして、令和7年度で、いまのところ、申請を受け付けている執行額から比較しますと、3倍近くの予算額を確保しておりますので、ほぼほぼ需要には対応できるかと考えておりますが、もしこの予算1,900万円が全て執行された場合につきましては、既存の中小企業振興総合補助金の予算の中で対応していくというような形に誘導させていただく予定でございます。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） そのほか質疑ございませんか。

7番佐藤秀靖議員。

○7番（佐藤秀靖） 12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配付事業費についてであります。

先ほど、るる御説明いただきました。経済対策も含めて商品券という選択をなさったということでありますけれども、先ほどの御答弁のとおり、商品券には使用期限がございます。という部分と、それから、先ほど来、質問がありました受渡しの煩雑さ、それから、封入、手数料等々の経費がかかるという部分を考えると、現金給付も選択肢の有力な候補ではなかったのかと思います。

これとは別件ですけれども、先ほど提案されました子育て応援手当はプッシュ型で振込ということでありますけれども、私の記憶違いでなければ、コロナ禍のときの給付金もプッシュ型だったと思います。

それを考えれば、封入等々、印刷等々の手数料、それから手間暇を考えれば、現金給付ということも考えてもよかったのではないかと思いますのですが、そこら辺は比較されたかどうか、伺います。

○議長（渋谷正文） 御答弁願います。

関澤博行総務部長。

○総務部長（関澤博行） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

12ページ、13ページ、7款1項1目の159番、物価高騰対策生活応援商品券配付事業費についてでございますけれども、今回、現金ではなく、商品券を選択した理由ということでございます。

こちらの物価高騰対策生活応援商品券配付事業、商品券を配付するということを選択したことにつきましては、先ほど本田部長からも答弁させていただきましたけれども、今回の事業を活用いたしまして市内経済に効果をもたらしていくということを想定いたしております。

国からは、こちらの食料品の物価高騰対応への支援につきましては、商品券の配付及び現金等、様々な選択肢から選択できるということになってございます。児童手当に上乗せする部分、またコロナ禍の給付金の部分につきましては、国が現金を支給するというスキームを組んで、自治体がそれを行うというものでございました。今回の食料品の支援につきましては、自治体の判断がかなり幅広く認められているということで、北海道内でも、一部、現金を支給している自治体があるということも存じてございます。

一定の手間、経費がかかる状況ではございますけれども、国の支援を受けたそういった生活の支援につきまして、ぜひ、市内の事業者にお金が回るということも

大事なことではないかということで、今回、商品券を選択させていただいたということでございます。

以上でございます。

○議長（渋谷正文） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第7

議案第2号 富良野市手数料条例の一部改正について

○議長（渋谷正文） 日程第7、議案第2号、富良野市手数料条例の一部改正についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

稲葉武則副市長。

○副市長（稲葉武則） -登壇-

議案第2号、富良野市手数料条例の一部改正について御説明申し上げます。

本件は、住民記録システムの標準化に伴い、住民票の写しの様式が変更となるため、富良野市手数料条例の一部を改正するものでございます。

以下、その内容について御説明申し上げます。

別表中、「住民票の謄本」及び「抄本」を、それぞれ「住民票の写し（2人以上）」、「住民票の写し（1人）」に改め、あわせて、「多機能端末機による住民票の交付」を「多機能端末機による住民票の写しの交付」に改めるものでございます。

条例の施行日は公布の日からとし、令和8年1月13日から適用するものでございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（渋谷正文） これより、本件の質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

閉 会 宣 告

○議長（渋谷正文） 以上で、本臨時会に付議されました案件は、全て終了いたしました。

これをもって、令和8年第1回富良野市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時40分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和8年1月26日

議 長 渋谷 正文

署名議員 佐藤 秀靖

署名議員 大栗 民江